

cafeから始まるおもしろまちづくり

20 YEARS Report

20

コミュニティカフェ

まちの情報発信



まちづくり



design

2000-2020



株式会社イータウン

まちづくりを シゴトにしても いいじゃないか

20 年前、私は上大岡の高層ビルで働いていました。
ある日、その 18 階の窓から外を眺めていた時、
眼下に広がる街を遠く無機質なものを感じている自
分に気づきました。

自宅からもほど近く、
自らの生活圏とも言えるまちなのに、
自分はこのまちのことを何も知らない。

このまちで

どんな人がどんな暮らしをしているのか、
どんな店がどんな想いで営業しているのか…、
知りたい、まちを身近に感じたい。
そんな想いで地域情報サイトを立ち上げました。

活動を始めてみると、
お店の人たちのこだわりや地域愛、
自治会や商店会の人たちの地域貢献、
そして様々な団体が、
地域課題に取り組んでいることを知りました。

こうしたことをもっとまちの人達にも伝えたい。
また、これらの活動を横断的にお手伝いすることで、
不可能が可能になり、課題解決の一助となり、
暮らしやすいまちづくりにつながるのではないか。
そんな想いが高まり、私はまちづくりを仕事として
取り組んでいく決意をしました。

20 年前は、まちづくりはボランティアでやるのが常
識。
仕事として取り組むことに風当たりは強かったこと
を思い出します。

ただ、一方で、地域の人間関係が希薄になり、
人々が何気なく集い合う場もなくなり、
まちづくりは地域社会の重要な課題に位置づけられ
るようになりました。

地域情報サイトの運営…という小さな取り組みは、
やがて、株式会社として web サイトなどのデザイン、
タウンスカフェの運営などを行うことにつながり、
コミュニティカフェの立ち上げ支援や
まちづくり関連事業の企画運営、コンサルティング
などの仕事へと発展してきました。

株式会社イータウンでは、地域をつなぎ、元気にする。
必要に応じて社会の仕組みを変える。

そうしたことを、理論ではなく、コミュニティカフェ
運営やまちの情報誌発行などを通して、まちづくり
実践者として取り組んできました。

小さな歩みですが、少しずつ、こうしたソーシャル
ビジネスやコミュニティカフェ、市民参画のまちづ
くりが地域社会に受け入れられる時代が来たと感じ
ています。

また、一方で、同じ志をもつ全国各地の仲間と一緒に
学び、高め合う機会も多くいただき、まちづくり
応援事業として、コミュニティカフェやソーシャル
ビジネスの起業、運営のサポートもさせていただい
てきました。

ボランティアの仲間や商店会、商工会、行政のみな
らず、企業や事業者の方々との関係も多く育んでき
ました。それぞれの立場や想いは多様であっても、
自分たちの暮らすまちを思う気持ちを共有すること
で、人と人との関係が丁寧に紡がれていく様子。
まちづくり冥利につきます。

2020 年 8 月

株式会社イータウン 代表取締役 齋藤 保



「夢・協創」

地域の夢、人の夢、たくさんの夢を
協働で創りあげる精神で
心豊かな地域社会づくりを
目指します。



絵で見るイータウンのまちづくり

感じるココロと
伝えるチカラで
つながりあう未来を





まちづくり



●デザイン事業開始

●かみおおおか e-town 開設



2008 - 2010

●コミュニティビジネスノウハウ移転事業
(経済産業省)



2010 - 2012

●コミュニティビジ
(町田市)

2010 - 2018

●ソーシャルビジネ
(横浜市経済局)

2007 - 2010

●よこはま CBsmiles 地域拠点
(横浜市コミュニティビジネス支援事業)



2000

■事業開始 (TTT.com)

■個人事業開業 (2002.6)
(イータウンドットコム)

2004

■株式会社イータウン設立 (2004.7)

2005

■港南台タウンカフェ開設 (2005.10)

2008



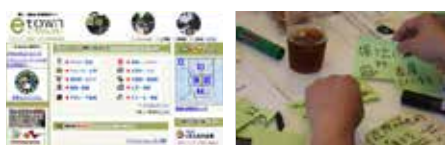
2011

●東日本大震災

●まちの情報誌「かわら版」創刊

●まちの情報誌「ふ

●こうなんだい e-town 開設



●港南区民活動支援センターブランチ
(2008.8)

●もっと×2交流ステーション

●港南台地域元気フォーラム



●港南台国際協力まつり

●キャンドルナイト in 港南台



●まちサロン inCafe



■経済産業省ソーシャルビジネス55選に選定 (20

■横浜・人・まち・デザイン賞受賞 (2009.7)

■国土交通大臣表彰受賞 (2010.5)

タウンカフェ



2012 - 2014

●ソーシャルビジネス被災地ノウハウ移転事業
(経済産業省・復興庁)



ネス啓発事業



ス支援事業



2016 - 2020

●地域づくりキャンバス事業
(横浜市栄区役所)



2013 - 2017

●全国の小さなまち・むらのファンづくり応援
事業 (アンテナショップ kura-cafe 運営)



2020 -

●幸区における
ソーシャルデザインセンター
協定締結 (川崎市幸区)

2016

2018

2020



■新川崎タウンカフェ開設 (2016.10)

■鹿島田デイズ設立 (2018.10)

次の時代のまちづくりへ
ステップアップ!

〜のん」創刊



●新川崎タウンカフェ通信発行

●キッチン設置
(クラウドファンディング)

●新川崎ハッピーサロン



●鹿島田 DAYS コワーキングカフェ
OPEN (2018.11)



■横浜市長表彰 (横浜市困難を抱える若者の就労訓練協力団体表彰) (2012.7)

■横浜・人・まち・デザイン賞受賞 (2013.5)

09.3)





タウンカフェ

15年前、人々がふらっと立ち寄れ、訪れた人同士がつながり合えるような施設はありませんでした。なければ自分たちで創ろう…ということで、2005年、横浜市港南区に「港南台タウンカフェ」を立ち上げ、2016年には川崎市幸区で「新川崎タウンカフェ」もオープンしました。こうした「場」は今ではコミュニティカフェと呼ばれ全国的にニーズが広がっています。タウンカフェは、居場所としてだけでなく多様な機能を併せ持つまちの拠点となっています。

タウンカフェの機能：その1

【居場所機能】

誰もが立ち寄れ、安心して過ごせる居心地の良い空間。喫茶、歓談、打ち合わせ、ショッピングや情報収集など…様々な目的で訪れることができ、心地よく過ごせるよう、温かみのある落ち着いた雰囲気を大切にしています。



カフェサロン



地元ベーカリーの自家製酵母パンや手網焙煎のコーヒー、こだわりのスイーツにホッと一息。楽器の演奏や趣味の教室、写真や絵画の作品展開催など、様々な形で自己表現をすることもできるサロンは、集まった人たちの輪が自然と生まれる交流の場になっています。営業時間外は貸し切りもでき、ライブや懇親会、セミナーなどにも活用されています。

小箱ショップ/スクエア



多くのハンドメイド作品が並ぶ個性豊かな小箱ショップ。地域の方々や福祉作業所などが、自慢の作品をお好みにディスプレイした、自分だけの小さなお店。プチ教室（小箱スクエア）は「自分の世界が広がる」と参加の方にも作家さんにも人気。これまでに1000人を超える小箱ショップオーナーが誕生し、活躍しています。



●タウンカフェが担う4つの機能

コミュニティカフェは地域の人々が次々に訪れ安心して過ごせる居場所機能がベースにある。そこで知り合いが増え、つながりも生まれてくる。

また、ちょっとしたお手伝いをしたり地域活動に参加したりなど、関わりのきっかけづくり機能も備わることでより地域性や公益性が高くなっていく。

そしてさらに、人と団体や団体同士がつながり、相互支援の機会をもつことで地域社会がよりよくなっていくのだと考えています。



タウンカフェの機能：その2 【つながり機能】

人と人との関係性を大切にしたい…という思いが場の空気感となり、お買い物やお茶を楽しむ方と作家さんや活動団体など、思いがけない出会いやつながりがカフェの中で生まれます。交流の輪を広げたい方には、気軽に参加できる交流イベントも開催しています。



こもれびカフェ



こもれびカフェは、横浜市介護予防・生活支援補助事業（サービスB）として運営。介護予防を目的としたプログラムは、シニアの方達の交流を促し、新たな居場所としてご利用いただいています。サロンの運営を支えているのは、地域ボランティアの皆さん。区役所、区社協、地域ケアプラザとも連携し、地域福祉の一端を担っています。

もっと×2交流ステーション



毎月開催される誰でも気軽に参加できる飲み会。集いを楽しむ常連さん、紹介したいことや相談事がある地域の方、まちづくりに関心のある学生・活動者・行政の方…様々な方が集います。プログラムは自己紹介のみですが、新たな気付きや発見、出会いがあり、協力関係につながることもしばしばです。

スタッフのつぶやき 小箱ショップから生まれるコト

小箱ショップはいわゆる委託販売の場ですが、単に「売る」だけであれば、今やインターネット上で手軽に出展できるようになりました。その中でもタウンカフェに出店する意義は、出店する小箱ショップオーナーと、購入するお客様と、私たちスタッフが緩やかに繋がることができる仕組みに尽きると感じます。

自らの作品の魅力を伝えるために手作り教室などを開催し、講師として活躍する方もいます。

また、手作り好きな方たちが持つ豊かな発想は、地域イベントにまで発展した「キャンドルナイト」や、季節毎の店内企画展、手作り作品を提供してその対価を募金とする「手作り募金」を立案し、主体的に関わっていただくこ

とで雰囲気作りの一役を担っています。それまで個人的な趣味として手作りを楽しんでこられた方も、技術や創作意欲を向上させつつ自己実現の機会を得て、自然と地域とのつながりを持つことができる価値を、今後も広く伝えていきたいと思っています。

タウンカフェの機能：その3 【地域との関わり】

タウンカフェには一歩踏み出す機会が豊富にあります。地域活動に縁のなかった人がボランティアを始めたり、趣味で行っていたことが社会貢献に発展したり、それは各々の人の世界を拡げ、地域の活性化や温かみのあるまちづくりにつながります。



キャンドルナイト in 港南台

キャンドルの灯りを眺めながら、エコや地域のことを考えるイベント。卵の殻に廃油を入れて作るキャンドルが夜の公園で輝きます。企画運営は、地域住民、商店主、高校生などをメンバーとする実行委員約 15 名。当日ボランティア 40 名、キャンドルを手作りしてコーナーを出す団体 10 団体、賛同企業や団体約 40、当日の来場者約 1000 人…そしてたくさんの方が卵の殻を持ち寄ってくれる、まさに地域ぐるみのイベントをコーディネートしています。



地域交流サロン

地域の方をゲストに迎え、特技や専門性を披露していただき、参加者同士で交流する集まりを企画し、開催しています。歴史や自然、楽器の演奏や旅の紹介など、テーマは多岐にわたります。お茶の入れ方、ワインの選び方、畳の話、口腔衛生など、専門分野のことを伝授していただくこともあります。テーマを媒介につながり合い、人材の豊かさを知り、地域への愛着が増す機会になっています。



●まちサロン（港南台）

タウンカフェ誕生前から「まちづくりフォーラム港南」が開催してきた企画を引き継いで行っています。

●ハッピーサロン（新川崎）

実行委員のみなさんがテーマやゲストを決め、企画から進行まで担って開催される手作りのイベントです。



フォーラム

まちを大切に思う人が増えること。様々な課題に取り組む人や団体が互いに知り合うこと。そしてよりよい地域づくりについて共に考え合うこと。それが、豊かなまちづくりにつながると考え、地域づくりをテーマとしたフォーラムを開催しています。行政関係者や自治会・町内会の方々も含め地域の様々な人が集い、熱心な語り合い、学び合いの場、人材発掘や連携創出の機会となっています。



●地域元気フォーラム（港南台）

「地域の課題を見つける」「地域の資源（ヒト・モノ・取り組みなど）の再確認」「総動によるまちづくり」などをテーマに講義やグループワークなどで学び合い、考え、語り合っています。

●まちづくり応援フォーラム（新川崎）

地域で活動している個人、団体や企業の方の活動発表やそれぞれの活動に課題について応援したり、共に活動をしたい方とのつながりも生まれ、多世代多業種が集う新たな人材発掘の場となりました。



杉浦真知子さん

港南台タウンカフェ / こもればカフェボランティア
港南台テント村運営ボランティア

VOICE

私が長年ボランティアをしている港南台タウンカフェは代表である斎藤さん始めスタッフの皆さんの人柄がよくとても居心地の良い場所です。飽きっぽく人見知りの自分がこんなに長くいられるとは思いません。それはきっと日々に変化があると言う事。お客様、他、本当に人との出会いが多いのです。そしていろんな方たちと知り合えて自分自身の成長になっていると思っています。タウンカフェではまちづくりの一環としていろんなイベントが行われています。その事に関わった事も飽きずにやってこられた理由の一つではないかなと思います。まちづくりは良い社会を作れると思っています。お互いを尊重し、助け合いで作り上げていくものだから。

中村純子さん

新川崎タウンカフェボランティア / 音楽通り演奏者 / 鹿島田デイズサポーター

VOICE

タウンカフェでオカリナを吹きたくて関わり始めました。気がついたらボランティアまでさせていただいています。タウンカフェのあたたかい空気が私は大好きです。出会う人がとてもいきいきしてるように見えます。行くたびに私は、元気をいただいています。元気が無いわけじゃないのですが～。だからまた新しい元気に会いたくて行きます！！私も誰かにワクワク元気をおすそわけしに行けてたら嬉しいです。これからもずっとお手伝いしたいなと思っています。

タウンカフェの機能：その4 【まちのコーディネート】

地域の様々な人や団体、グループ、施設等がそれぞれの役割を發揮しつつ合うことが大切と考え、必要に応じてそうした地域資源をつなげるコーディネート機能を担い、豊かな地域づくりを目指しています。



ボランティア・研修受け入れ



タウンカフェでは様々な場面でボランティアやインターンが活躍しています。これまで150名を超える方々が参画。時には中学生からシニア層までと一緒にイベントを考え創り出すような場面も。また社会に関わりづらい方の受け入れ研修も30名近くに。ここでの経験を機に地域活動や職場にデビューする方も多いです。



まちの情報誌



●ふ〜のん 【港南台】

風渡る穏やかなまちをイメージし名付けられた情報誌。まちへの関心や新たな出会いが生まれるきっかけになればと、中学生や主婦らが集まり企画・取材・編集している手作りの冊子です。



●まちのおと 【新川崎】

まちかどインタビューでは「しあわせだなあと感じるとき」をテーマに撮影します。まちのスポットや声や音…開くたびに笑顔になれる一冊をお届けします。



地域活動支援事業 港南区民活動支援センター / 幸区ソーシャルデザインセンター



タウンカフェは、民設民営の交流・まちづくりの拠点です。講座・イベント・交流親睦会・情報の受発信など、公益性のある取り組みを数々行っています。港南区では2008年区民活動支援センター設立の折にタウンカフェがランチとして位置づけられ、これらの公益活動の一部がランチ事業として行えるようになり、より充実、発展させることができています。また、区役所や支援センターとともに、

施設交流会、こうなん活動フォーラムなど区内の活動支援事業の実施にも協力しています。区民活動支援を身近な場所で行うことができ、また、地区の実情を区の取り組みに活かすことができることなど、成果が上がっています。新川崎タウンカフェでも、2020年より幸区と連携したソーシャルデザインセンターを開設。まちの方の相談や活動・起業支援などを行います。

colum

かま 構いたくなるカフェ

美味しいコーヒーを飲みたい、気持ちいい空間でんびり寛ぎたい、身近なところにそんなカフェがあるといい。港南台タウンカフェ（以下、タウンカフェ）の魅力は、なんだか違う。自分が関わりたい、いやもうちょっと突っ込んで「ほうっておけない」「構いたい」自分の中にあるそんな気持ちが引き出されていく場である。

「タウンカフェがもっとこんな風だったらいいのに」「港南台のまちがもっとこんな風だったらいいのに」・・・とつぶやく人、思いを持つ人が集まり、みんなでそれを受け止め、アイデアを出し合い、イベント

や小箱ショップのよりよい運営などをカタチにしていく。周辺のデパートや商店会を巻き込んだキャンドルナイトも実現した。情報誌もそう。つぶやきの種類やスケールに差はあるけれど、身近な地域の魅力づくりや課題解決につながるという意味では、タウンカフェは、時に政策提案・政策実現プロセスを体現する、古代の広場のような空間になるのである。自分が、「自分のしたい」だけでなく、「誰かのしたい」を助けたり、集まる人の思いを、思い合って「みんなのしたい」にしていく。関わると化学反応が生まれ関わる喜びを実感する。そうすることで、よ

石井大一郎

宇都宮大学准教授（地域デザイン科学部）
まちづくりフォーラム港南メンバー

その人に構いたくなる気持ちが生まれる。お節介りよりも、もっと自分の主体性や協働性が高い、「構いたくなる気持ち」が生まれる場所がタウンカフェである。多様な参加と交流の場をベースとして、つぶやきを受け止め「一緒に〇〇したい」「あなたの力を貸して欲しい」と仲間になりたくなる声かけ、そして、実現のイメージを共有し、共同作業を通して実現していく。タウンカフェのこうした関わりが、たくさんの「構いたくなる気持ち」を育み、いつしか地域づくりを担う仲間を増やしているのである。10年続くコミュニティカフェの真骨頂である。

まちの事務局機能～連携・協働の取り組み

タウンカフェでは、地元商店会から市民活動団体等まで幅広く事務局機能を担っています。事務局としての業務やコーディネートはもちろん、コミュニティカフェがまちの窓口機能として誰でも立ち寄り、必要あればスタッフに相談したりできることも魅力の一つでしょう。

●横浜コミュニティカフェネットワーク

横浜市内でコミュニティカフェを運営する実践者や研究者を中心に約25人が集まる中間支援組織。2014年に設立。横浜市との協働事業で3年間「cafe型中間支援機能の創出・強化・普及事業」を担ったり、その後は現場視察会・見学会や会員同士の交流の機会、コミュニティカフェのアンケート調査、サービスB研究会、コミュニティカフェフォーラム開催などを行ってきました。

※齋藤保が同会の代表を務める



●エリアマネジメント組織 鹿島田デイズ

2018年10月に組織が立ち上がり、11月にcafe機能とエリアマネジメント活動拠点を担う鹿島田DAYSコワーキングカフェがOPENしました。コミュニティカフェ運営のノウハウを活かしコワーキングカフェの運営を担いながら事務局として組織と連携し、地域のイベント協力や人材育成等、コーディネート業務に取り組んでいます。

※齋藤保が同会の幹事を務める



●くらしまちづくりネットワーク横浜

2011年3月の東日本大震災をうけて、市内の被災地支援団体が集まってできた団体。主に岩手県大槌町への募金活動や被災地支援から活動が始まり、その後同町での地域活動やコミュニティビジネス支援なども実施。現在は地域間交流として大槌訪問交流ツアーや横浜でのまちづくり人研修など継続的に関わっています。タウンカフェでは2014年より事務局として役割を担ったり、大槌の写真展開催、手づくり募金や物産等の販売などの協力を行っています。

※齋藤保が同会の共同代表を務める



●横浜港南台商店会

1984年から活動を行っている地元商店や事業者が集まる商店会。現在74会員で活動。「彫刻と野鳥とマロニエのまちづくり」をキャッチフレーズとして、港南台テント村やちよい呑みフェスティバルなど様々な地域交流・活性化イベントを実施。まちづくりフォーラム港南と一緒に港南台タウンカフェの運営協力団体としても位置づいています。

※株式会社イータウンは2005年より同会の事務局業務を受託して担っている



●港南区民活動支援センターブランチ

事業の概要はP11を参照

●幸区ソーシャルデザインセンター

事業の概要はP11を参照

野口幸子さん

くらしまちづくりネットワーク横浜共同代表

VOICE

2011年3月11日東日本大震災以来、ご縁あって岩手県大槌町の被災地支援活動に「くらしまちづくりネットワーク横浜（通称くまヨコ）」が関わりを持つようになり10年近く経過しました。当初は多くの団体、NPO、企業等の会員の協力により、その時々に必要な支援を続けてきました。現在は少人数ではありますがゆるやかなネットワークで、住民自らの力が生かせる復興のまちづくりや、個人的な繋がりが大事にし、交流ツアーなどを企画、活動を続けています。港南台タウンカフェはその活動の中核となる事務局として、募金活動はもとより被災地写真展の開催、大槌まちづくり人研修受け入れなども担ってこられました。大槌の魅力は自然の豊かさや独自の伝統文化、人の優しさなど、さらなる発見を目指して、これからも「こころのふるさと」大槌とご縁を結ぶために協力連携して歩んでいきたいと思っています。

安藤佳之さん

横浜港南台商店会会長

VOICE

■賑わいの街づくり

「港南台 賑わいの街づくり」は、横浜港南台商店会の活動目的の1つである。株式会社イータウンが運営する港南台タウンカフェは横浜港南台商店会の事務局、窓口を担い、賑わいの街づくりの向上に大きな役割を果たすと共に、港南台地域の活性化に貢献されてきた。商店主が持ち寄るアイデアや街に対する想いを、商店会が主催として開催するイベント運営の中核となり、「街」と「暮らす人」を笑顔で結ぶ。これからの25年、30年と港南台の街・人・商店の賑わいを繋ぐ活動を、共に歩んでいければ幸いです。

まちづくり応援事業

まちの魅力を
知り・感じ・伝えるための、
まちの情報をつなぎます。
温かみのあるまちを育てる仕組みづくりが、
地域交流・地域活性化の原動力となります。
そんな地域まちづくりの
お手伝いをさせていただきました。



●まちづくり・地域活動支援



- 主な取り組み
- 地域づくり大学校企画運営
- まちづくりフォーラム
- 元気な地域応援シンポジウム
- など

●ソーシャルビジネス支援



- 主な取り組み
- 起業家セミナー
- 情報発信事業
- 起業家個別相談事業
- ソーシャルビジネスフォーラム
- など

●コミュニティカフェ支援



- 主な取り組み
- コミュニティカフェ運営講座
- 現場視察会視察会
- 起業個別相談
- 運営コンサルティング
- など



●まちづくり・地域活動支援

私たちの実践経験と豊富な実績をもとに、地域の課題解決を行うコミュニティビジネスや地域まちづくりなどについて全国各地の様々な現場でサポートをさせていただいてきました。

セミナー企画運営

地域まちづくりやコミュニティづくりなどのセミナーやフォーラムなどの講座やファシリテーター、コーディネーターなどに携わってきました。自治会町内会や、商店街、地域まちづくり NPO やボランティア団体など、地域づくりに関わる多様な方々との学び合いを行っています。

講師・講演

地域活性化やまちづくり推進のためのフォーラムやシンポジウムなどでの講演会をはじめとして、パネルディスカッションのコーディネートやファシリテーションなど様々なニーズに対応したサポートをさせていただいています。

■主な取り組み

- 地域づくり大学校
- まちづくりフォーラム
- コミュニティカフェ運営講座

■主なテーマ

- コミュニティカフェの始め方
- 居場所づくりと地域活性化
- 都市部における地域コミュニティ
- 新しい公共空間と地域づくり
- まちの担い手発掘と育成
- コミュニティカフェ運営7つのツボ

●ソーシャルビジネス支援

地域や社会の課題解決に取り組む起業家のたまごや実践者の方々への支援・サポート。行政と連携した起業家セミナーや個別相談、ネットワークづくり、情報発信事業など

セミナー企画運営・講師

コミュニティビジネスやソーシャルビジネスなど地域や社会課題解決のための取り組みについて、起業家セミナーや実践者向けの講座などを企画から運営まで行ってきました。3回から6回シリーズなどの連続講座も好評をいただき、行政等自治体や、NPO 支援センター等からのご依頼が多いのが特徴です。

■主な取り組み

- 起業家セミナー
- ソーシャルビジネス情報発信事業
- 個別相談コンサルティング



●コミュニティカフェ支援

地域での居場所やサロン、コミュニティカフェの立ち上げや運営支援などのニーズが多く、これまで全国 50 以上のコミュニティカフェの運営支援やアドバイス等をお手伝いさせていただきました。

タウンカフェ視察・見学

2005 年の港南台タウンカフェ開設後、全国各地のみならず、海外からの視察見学も多く、これまで約 200 件を超える視察見学の受け入れを行ってきました。

自身が起業運営する実践者の方に加えて、支援サポートする立場の自治体や商工会、NPO 支援センターなどの支援機関の方が多いのも特徴です。

■主な取り組み

- タウンカフェ視察研修
- タウンカフェ見学
- 調査ヒアリングへの協力



起業相談アドバイス

NPO や個人事業などでコミュニティカフェを始める際に必要な運営ノウハウや起業に関する各種相談アドバイスを実施してきました。特に地域や行政との関わり方や、事業運営に必要な資金調達や収益性の確保、人材発掘や育成にかかるテーマの内容が多くあります。

●延べ実施回数：156 回

■主な取り組み

- コミュニティカフェ起業相談
- コミュニティカフェ運営相談



コンサルティング、運営サポート

実際にコミュニティカフェを運営されている方々の課題解決などを行うための運営サポートやコンサルティング。

また企業の社会貢献活動や本業でのコミュニティカフェ運営に関わるコンサルティングなどを行ってきました。

■主な取り組み

- コミュニティカフェ運営コンサルティング

■主な支援先・事業者

- ・三井不動産レジデンシャル株式会社
- ・日立化成株式会社 など



調査研究協力

大学や研究機関の研究者の方のコミュニティカフェやソーシャルビジネス、地域まちづくりに関する調査やヒアリングなどへの協力を行っています。また学生の調査や研究のニーズも高く、ヒアリングを受けるだけでなく一緒に活動参加する機会を設けるなど多様な学びの場を提供しています。

山本創太さん

鹿児島県大崎町 地域おこし協力隊

■港南台タウンカフェ視察見学プログラム参加

見学コースでの申し込みであったにも関わらず、たくさん相談に乗っていただきありがとうございました！町内にある施設をコミュニティスペースにリノベーションしようと計画を立てる機会をいただきました。しかし、何から始めていけばよいのかがあまり分かっておらず、手探りな現状で港南台タウンカフェ様の見学をさせていただきました。資料は大変分かりやすく、自分の頭の中で考えていたことが言語化・視覚化されていて大変共感し、頭の中も整理することができました。また、地域の人への説明がしやすいので助かっております！

VOICE

●これまでの実績紹介

これまで取り組んできた事業の中から、主なものを紹介させていただきます。

●SB/CB ノウハウ移転事業

コミュニティカフェやソーシャルビジネス事業者へのハンズオン支援

コミュニティカフェを活用した地域まちづくりを実践する団体等へのサポートプログラム。実際のコミュニティカフェ見学から、運営のノウハウを可視化して伝えたり、実際に現地で経営会議や地域サポーターとの会合を行うなど2年間にわたる継続的な支援施策を実施しました。

- 期間：2008-2009 年度 / 2012-2013 年度
- 事業形態：ハンズオン支援（コンサルティング）
経済産業省・復興庁の補助事業として実施
- 対象：全国のコミュニティカフェ運営団体 12 社
(岩手県 / 福島県 / 東京都 / 神奈川県 / 長野県 / 岡山県 / 大分県)



●栄区地域づくりキャンバス

居場所づくりやコミュニティカフェ運営の学びの場づくり支援

横浜市の地域づくり大学校の一環として実施されている連続講座。サロンやコミュニティカフェなどの居場所づくりを目指す方や関心のある方向けに様々な視点での講義やワークショップなどを行っています。

- 期間：2016 年度より 2019 年度まで毎年開催
- 参加者数：合計 84 名受講修了
- 事業形態：横浜市栄区役所協働契約による委託事業
- 対象：主に栄区民でコミュニティカフェや居場所サロンなどの運営に関心のある方や実践者など



藤井照子さん 大槌を応援する会代表

■栄区地域づくりキャンバス受講生

これまでの2回受講させていただきました。同じ地域で暮らし活動しているのに、今まで出会わなかった人との出会いが一番の財産となりました。

講座で感じた、違う考えや居場所のありかた。いままでやってきた事をもとに自分の中に物事のやりたい芽が育ってきています。大きな宝物をもらったような気がします。

講座はきっかけで、そのあとが大切。どうしてますか？の場があるといいなと思うこの頃です。これからはさらにアンテナ貼って地域で活動を続けていきます。

VOICE

森川美代子さん

おはなしの風代表 / みんなの絵本のおうち主宰

■ヨコハマ市民まち普請事業コーディネーター

私たちは、齊藤さんからのコーディネートを受けて、ヨコハマまち普請の助成に、合格しました。齊藤さんからは、チームのメンバーの個性を見つめ、メンバーが、楽しく働ける関係、場をつくる事が大切と、学びました。その為に、齊藤さん考案の楽しいワークを通して、お互いを知る事から始まりました。また、絵本のおうちでのお互いの夢を共有することで、同じ方向を見つめる事が出来、チームとして心が繋がりと、団結してまち普請の最終審査にも臨めました。

これからは、齊藤さんからの学びを大切に、地域の皆さんを見つめ、街の灯りのように、温かい時間をお届けしたいと、思っています。心より感謝しています。

VOICE

●新川崎タウンカフェ

再開発のまちづくり交流拠点としての役割

2016年に三井不動産レジデンシャル(株)との連携事業として新しいまちのつながりづくりを住・商一体の複合再開発エリアで実践。

オープン前より地元まちづくり実践者や住民らによるボランティアチームを協力して運営しています。

幸区の協働事業の委託や市民活動の拠点として cafe の貸スペースは好評です。

小箱の手作り品が並ぶ店内は、普通の雑貨店兼喫茶店のようですが、お茶を楽しまれる方と、まちづくりの活動をされている方が共存する多様性のある場所となっています。

●期間：2016年～現在

●形態：事業連携

●対象：三井不動産レジデンシャル(株)

寺田 元さん

三井不動産レジデンシャル(株)横浜支店副支店長 / 開発室長

1979年の事業用地取得から約37年かけて再開発事業の建物が完成しました。当社は特定事業参加者として住宅分譲を行いました。計画段階での地域の方々や行政との話し合いの中で、元々お住まいの地域の方々と住宅を新しく購入された方々が交流できる新しいコミュニティの必要性を感じ、街を経年優化させるためにイータウン社のお力をお借りすることにしました。

竣工後誕生したタウンカフェは約4年経過し、地域活動拠点、地元の一員として徐々に存在感を発揮しています。他のカフェと一線を画す空間、雰囲気作りは地域の活性化、多世代の方々の交流の場として、今後益々存在価値が認識されていくものと思われます。

VOICE



●鹿島田デイズ

エリアマネジメント組織の運営支援

鹿島田 DAYS コワーキングカフェを拠点とし、地域や行政と連携し、駅前の広場などを利用したイベントや社会実験に取り組んでいます。また地域のまちづくりに関心のあるサポーターと呼ばれる方や、自治会町内会、商店会との意見交換、様々なまちづくりへの仕掛けやイベントの活動支援などを行っています。

コワーキングカフェは、cafe 利用の方々に心地よく過ごしていただくよう運営しつつ、まちの方がいつでも相談など気軽に立ち寄れるよう、イータウンのスタッフがまちのコーディネーターとして活躍しています。

●期間：2018年～現在

●形態：コンサルティング、事務局業務委託

●対象：エリアマネジメント組織鹿島田デイズ、三井不動産(株)、地元商店会、事業所等

村石 修さん

鹿島田デイズエリアマネジメント代表幹事
鹿島田商店会会長

鹿島田駅周辺地域は矢上、古市場線拡張工事が始まり昭和55年は鹿島田駅周辺地域に再開発が始まり、平成にパークタワー新川崎が出来あがり、鹿島田地域の再開発も一段落しました。

新川崎タウンカフェもパークタワー新川崎に出店して4年目ですね。姉妹店鹿島田 DAYS も出来て、より地域貢献、人材交流も深まり地域に根ざした場所として認識されるようになってきたと思います。これからも頑張ってください。

VOICE



小園 弥生さん

男女共同参画センター横浜南

■「めぐカフェ」の経営コンサルティング

南太田の当館で2010年に開設した就労体験の場「めぐカフェ」の経営コンサルティングを齊藤保さんにお願ひし(2014年と2018年)、大きな示唆をいただきました。

また、シニア女性の仕事力を地域の力とする事例として、小箱ショップのオーナーと担当スタッフの方をお招きし、イキイキとしたお話を聞かせていただきました。

場は生き物。常に変化し続ける、見えない空気です。だれもがそこにゆったりと居られるには、持続可能な基盤を確立しつつ、目的がかなう方向付けをチームで共有することが必要。立ち上げは楽しいけれど、続けるのは大変なこと。関わる1人ひとりの持ち味を引き出しあい、場を常に耕して肥沃な土壌を作ってこられたチーム・タウンカフェのみなさまに心から敬意を表します。

VOICE

川原康信さん

NPO 法人アットマーククリアスNPOサポートセンター

支援連絡員事業担当理事兼事務局長

■2013年度コミュニティカフェノウハウ移転事業

イータウンとの出会いは東日本大震災から2年、まだ復興の先が見えていない中、「場」の必要性をヒシヒシと感じていたころでした。洗練された港南台タウンカフェが持つノウハウの学びはスタッフの意識に新しい「思い」を芽生えさせ、「かだつて・マルシェ」が誕生しました。地域の手作り作家と一緒に運営し独立経営を目指しました。残念ながら継続運営までには至りませんでしたが、関わっていただいた作家さんやスタッフは現在、それぞれの道でノウハウを生かして仕事をしています。WITH コロナの時代だからこそ「場」の重要性をあの時、学んだような気がします。

VOICE

橋本 由利子さん

NPO 法人コーヒータム 理事長

■2013年度ソーシャルビジネスノウハウ移転事業

原発事故により浪江町から二本松市に避難してきて、障がいをお持ちの方々と一緒に、駅前の市民交流センター内で喫茶店を再開しました。

今後の運営方針や見通しは一切なかった時期に、イータウンの皆様と出会うことができたことはとてもラッキーだったと、今でも出会いに感謝しています。

ちょうどその頃、同じく避難してきた方々が仮設住宅で手芸サークルを開催していました。「コーヒータムで作品を展示してもらえないかな」「だったら販売して見てはどうですか」が箱ショップの始まりで、ノウハウ移転事業の中で学んだコミュニティカフェの考え方や、港南台タウンカフェを職員と一緒に見学に行ったことで、立地条件の良さを生かすことによりコーヒータムの社会的役目みたいのものが漠然とわかってきました。

現在箱ショップはほとんどが二本松市民の方がオーナーで、空き待ちの状態です。交流センターを利用する方に「コーヒータムの前を通ると楽しいのよね」といっていただくことがとてもうれしいです。

VOICE

為崎緑さん

中小企業診断士

■地域新事業移転促進事業、まちだの地域元気づくり塾、現場視察会等

私が初めて(株)イータウンの事業をお手伝いしたのは、コミュニティカフェのノウハウを伝え、運営する人材を育成するために取り組んだ、『地域新事業移転促進事業』でした。ノウハウ移転を望む各地を訪問する中で実感したのは、まずは地域ごとの独自の風土や人間関係を理解せねば先に進めないという事でした。ですが「ヨソ者の支援者」が入り込む難しさの一方で、地元に近い想いを抱く様々な方達との出会いに大きな刺激を受けたことを覚えています。

もう1つ記憶に残るのは、港南台タウンカフェのオープン時に活用した補助金終了にあたって開かれた、安定的運営持続を検討する会議への参加です。商店会、街づくり団体との3者連携で立ち上げられた交流拠点には、想像をはるかに超えた人のつながりが構築されていました。その裏には、立場の異なる3者が、運営にあたって、きめ細かなコミュニケーションと調整を図る努力を続けられてきたことがあるのだと強く感じられました。今後のさらなる発展を期待しております。

VOICE

中山明美さん

ほっこり南砺代表

■コミュニティビジネス講演会(ほっこり塾)など

富山県南砺市では小規模多機能自治の取り組みが始まり、新しい地域づくりについての情報やノウハウを求めて、講師依頼しました。

港南台タウンカフェの取り組みは、小さな田舎では無理が多いという意見もありましたが、小箱ショップやカフェサロンなどは、そこに暮らす人々を巻き込み、顧客との垣根の低い関わり方は居心地がよく安心できます。

また、活動の展開として多様なコミュニティネットワークを構築されています。新たな人材の発掘や担い手の育成につながるナチュラルな仕組みと、自立した事業運営は社会的ニーズや課題解決にリンクされています。

VOICE

森祐美子さん

認定 NPO 法人こまちぶらす 理事長 / 代表

■ソーシャルビジネス相談事業 / 起業家セミナーなど

2012年2月にこまちぶらすを任意団体として立ち上げたときに、つくりたい場所のイメージが最も近かったのが港南台タウンカフェでした。葉をつかむような思いで起業前にカフェに何度も足を運んだことはもちろん、ソーシャルビジネスセミナーに参加したり3回まで無料だった「個別相談」でめいっぱい3回使って相談ののってもらったりしました。現場見学の講座では、ユースポート横濱さんやワークスわくわくさんの話を現地に足を運びながら聞いたのもよく覚えています。なんてパワフルなひとたちがいるんだろうとただただ感動したのも。。。港南台タウンカフェの柔らかい落ち着いた雰囲気はまさに目指していたものでしたし、タウンカフェさんのつながりを通してたくさんの方の事例に触れたりお話を聞かせてもらうことで「こうしたい」「こうできるかも」と、描けることの幅も広がりました。

港南台タウンカフェや講座や相談事業が近くになかったら最初のステップは確実に違ったと思います。本当にありがとうございます。

VOICE

石井啓介さん

1級建築士事務所 もくもく STUDIO 主宰

■港南台タウンカフェ設計監理 / コミュニティカフェノウハウ移転事業アドバイザー他

先ず齊藤さんの居場所は / 自宅の片隅 2000 → 自宅の一室 2002 → 起業間借り 2003 → 株式会社イータウン設立 2004 → town/cafe 開設 2005 → 2020

その2005年5月に齊藤さんから town-cafe の構想を伺い、長さ12メートルに及ぶ壁全体が、全て棚になった模型を見て、「覚悟」が決まった齊藤さんのニコリ顔が思い出されます。

「覚悟」が出来ることの大切さは、その後 e-town が関わる全国各地でのノウハウ移転団体の組織にみる初期の共通した欠落要素であり、NPO 団体等が皆んなで楽しくやろうと創案する

流れに潜む、実は誰も「覚悟」した者がいなかった現実の壁にぶつかるといふ、大変興味深い現象です。

建築などの具体的なアプローチをたたき台にして、言わば crew の様なメンバー達が、空間のアイデアや運営方法を共有し試行錯誤して行く過程こそが、皆んなの中から「覚悟」をする一人が決まって行く自然な流れを齊藤さんと観てきました。

e-town が取って手取り足取りしない人や団体が自立して行く為の状況設定や態度は、建築の設計・監理に通ずるものがあり、よく街づくり

にありがちな専門家的しゃりやり出行為を払拭するもので、まさに地域界隈の人達に関わる上で最も大切なスタンスと言えます。自らを社会に晒すことは、社会から「覚悟」が求められることでもあり、齊藤さんは自らの居場所を通じてそれを出来るだけ多くの人に伝えようと、それも cafe 的な地域空間を場にして来たことは、まるでどこかの街の広場で声をあげて新聞(瓦版)を売る少年のようです。今や<3密>の状態を外へ裏返した新しい<散密>を盛り込んだ cafe の広場空間を目指して e-town/cafe と共に模索できれば幸いです。

VOICE



各地との関わり

これまで全国各地の志を同じくする仲間や起業家、自治体などの行政、支援機関の方々と
の関係を育んできました。また国内のみならず、韓国への訪問や中南米からの視察研
修受入れなども数多く行ってきました。

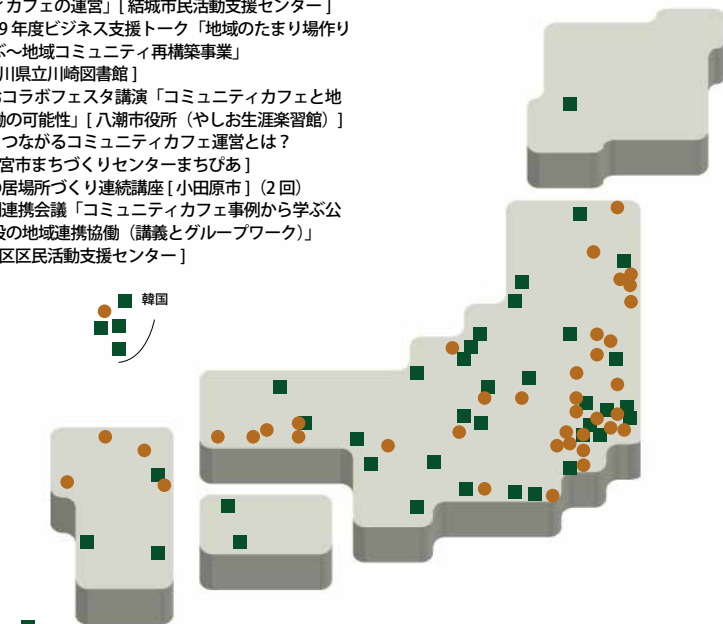
■フォーラム・シンポジウム講師 / コーディネーター / ファシリテーター

- ・神奈川県創業フォーラム [神奈川県]
- ・港区 CB シンポジウム [港区]
- ・コミュニティビジネス起業塾 [ひろしま NPO センター]
- ・地活動が更に輝く『3つの工夫』講座
[横浜市健康福祉局 / 横浜市社会福祉協議会]
- ・コミュニティカフェサミット [アクションポート横浜]
- ・国際コミュニティビジネスシンポジウム「日本のコ
ミュニティビジネスの成長プロセスと今後の展開」
[韓国ソウル市]
- ・創業フォーラム「かながわ創業応援キャラバン」
[県央地域産業振興協議会]
- ・人と文化の交差点～コミュニティカフェについてみんな
で考える講演会～
[NPO 法人吉備野工房ちみち] (岡山県総社市)
- ・多摩コミュニティビジネス講座 [多摩信用金庫]
- ・相模原コミュニティビジネスフォーラム
[財団法人相模原産業振興センター]
- ・広域関東圏 CB シンポジウム
[関東経済産業局・広域関東圏 CB 推進協議会] (3回)
- ・地域の活性化・元氣創造を図るコミュニティ・ビジネス
推進セミナー
[防府市民活動支援センター] (山口県防府市)
- ・文京区地域活動応援講座「コミュニティづくりを仕事と
するには？」
[株式会社エンパブリック / 文京区]
- ・笠間市コミュニティビジネス講座 [笠間市役所]
- ・横浜学～横浜と商売 [関東学院大学 / 横浜ウォーカー]
- ・みんなの家がだつて「復興カフェ」(岩手県金石市)
～人が集まる・何かが生まれる居場所(空間)づくり
[NPO 法人アットマークリアス NPO サポートセンター]

- ・三鷹市市民協働センターシンポジウム～商店街にまち
づくりの「場」があることの可能性
[三鷹市市民協働センター]
- ・横浜市まちづくりフォーラム「タウンカフェの事例か
ら学ぶ」[横浜市都市整備局]
- ・ふくやままちづくり大学～cafe から始まるおもしろま
ちづくり [広島県福山市]
- ・コミュニティビジネス起業講座「まちの交流拠点コミュ
ニティカフェの運営」[結城市民活動支援センター]
- ・平成 29 年度ビジネス支援トーク「地域のたまり場作り
を学ぶ～地域コミュニティ再構築事業」
[神奈川県立川崎図書館]
- ・やしおコラボフェスタ講演「コミュニティカフェと地
域協働の可能性」[八潮市役所(やしお生涯学習館)]
- ・まちとつながるコミュニティカフェ運営とは？
[宇都宮市まちづくりセンターまちびあ]
- ・地域の居場所づくり連続講座 [小田原市] (2回)
- ・施設間連携会議「コミュニティカフェ事例から学ぶ公
共施設の地域連携協働(講義とグループワーク)」
[港北区市民活動支援センター]

● 講演・講師・サポートなどで訪問

■ 視察・見学・相談・コンサルティングなど
でタウンカフェを訪ね



■セミナー・講演など

- ・ソーシャルビジネス起業家セミナー [横浜市経済局] (6回)
- ・ソーシャルビジネス現場視察会 [横浜市経済局] (16回)
- ・コミュニティビジネスとまちづくり～芝浦工業大学
- ・コミュニティビジネス講座～専修大学 (3回)
- ・コミュニティビジネス論～富山国際大学
- ・公共政策インターンシップ講義 [法政大学]
- ・スクーリング～コミュニティカフェの現状と課題 [日本福祉大学]
- ・多世代近居のまちづくり「多世代居住コミュニティの実現に向けて
～事例に学ぶ総働のコミュニティづくり」 [神奈川県]
- ・人や魅力のあつまるヒント [大槌コミュニティ再生会議]
- ・小箱ショップの魅力アップ [みんなの家がだつて]
- ・旭区生きがい発見塾 [横浜市旭区]
- ・「コミュニティカフェの魅力を感じてみよう」講座 [泉区民活動支援センター]
- ・よこはま地域づくり大学 [横浜市市民活動支援センター]
- ・逗子コミュニティビジネスセミナー [逗子市 / 神奈川県]
- ・地域シゴトの学校 [静岡県生涯学習課]
- ・日光創新塾「コミュニティカフェが地域を元気にする！」 [日光市役所]
- ・まちづくりキーパーソン養成講座「まちと人がつながる場を作る」
[松戸市市民活動支援センター]
- ・ソーシャルビジネス研究会 [東京都中小企業診断協会]
- ・経済経営研究所の「非営利組織の経営研究会」 [関東学院大学]
- ・NPO マネジメント講座「協働・連携編」 [かながわコミュニティカレッジ]
- ・女性のための起業セミナーカフェ編 [男女共同参画センター横浜]
- ・共感の輪をひろげる広報を考えよう [西市区民活動支援センター]
- ・地下鉄南部沿線セミナー「地域を変える発信力」～伝えるチカラを磨く 5 つの方法
[横浜市戸塚区、南区、港南区]
- ・プロの NPO をつくるための 7 の講義「現場から学ぶ組織デザイン」
[市民セクターよこはま]
- ・横浜地域福祉コーディネーター研修～基礎編フォローアップ～まちの仕掛け人にきく
コミュニティづくりの極意 [NPO 法人よこはま地域福祉研究センター]
- ・あだち皆援隊「コミュニティカフェコース連続講座」 [足立区役所] (6回×2年)
- ・さかえ地域づくりキャンパス (栄区地域づくり大学校) [栄区 14 年間]
- ・地域活動の担い手講座 [泉区中川地区連合町内会]
- ・ほっこり塾「居場所づくり 7 つのツボ」 [ほっこり南砺] (富山県南砺市)
- ・資金調達セミナー「コミュニティカフェの事業性と収益性」 [泉区]
- ・あおば de スタートセミナー「港南台タウンカフェの運営について」 [青葉区福祉保健課]

■コンサルティング / アドバイザー / 研修実施

- ・ソーシャルビジネスノウハウ移転事業 [経済産業省 14 年間]
- ・反町駅前ふれあいサロン接遇研修講師・運営支援 [神奈川区役所]
- ・フォーラム南太田コンサルティング [一般財団法人川崎新都市心街づくり財団]
- ・洋光台 CC ラボアドバイザー会議 [UR]
- ・若者チャレンジ再生事業アドバイザー [大槌コミュニティ再生会議]
- ・コミュニティカフェ調査運営サポート [一般財団法人川崎新都市心街づくり財団]
- ・コミュニティカフェ運営コンサルティング [東松戸商店街]
- ・コミュニティカフェコンサルティング～企画運営 [三井不動産レジデンシャル株式会社]
- ・さくらカフェたちコンサルティング [日立化成テクノサービス株式会社]
- ・福祉アンテナショップるびあコンサルティング [NPO 法人レジスト]
- ・パートナーシップ支援事業成果共有会進行・コーディネート [神奈川県 NPO 協働推進課]
- ・コミュニティカフェ講座、コンサルティング (Flower Canvas) [一般社団法人 Tsubomi]
- ・横浜愛育会職員研修「地域に愛される店舗づくりのポイント」
[NPO 法人よこはま地域福祉研究センター]
- ・コミュニティカフェコンサルティング [愛知県知立市]
- ・地域活動個別相談「居場所づくり相談会」 [泉区役所]
- ・ヨコハマ市民まち普請事業コーディネート [おはなしの風]

■調査・研究等ヒアリング協力

- ・ソーシャルビジネス調査研究会「コミュニティカフェが地域を元気にする」
[一般社団法人日本経済調査協議会]
- ・港南台タウンカフェ視察研修「日本のソーシャルビジネス現状と課題について」
[ソウル市社会的経済支援センター]
- ・日本の社会事業家 100 人インタビュー
(一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク+ IHOE)
- ・早稲田大学 医学を基礎とするまちづくり研究所
- ・中国成都愛有戲社区発展中心 / 大魚社区营造发展中心 (上海)
- ・鹿児島県大崎町 地域おこし協力隊
- ・東洋大学中野ゼミ
- ・政策研究大学院大学修士課程生川
- ・早稲田大学文化構想学部
- ・法政大学 大学院 政策創造研究科 (雇用政策) 石山研究室
- ・静岡英和学院大学人間社会学部コミュニティ福祉学科
- ・立教大学社会学部
- ・拓殖大学商学部
- ・専修大学大学院経営学研究科
- ・成蹊大学文学部

デザイン事業

●イータウンのデザイン

価値を再発見して、カタチにかえて伝えることそれが私たちの考える「デザイン」です。

PRの第一歩は、価値の再発見から。そして、価値をキチンと伝えるためのデザインを一緒に考えます。



■まちの情報誌

地域情報誌や機関誌などまちの情報誌の企画編集デザイン、発行サポートなど

地域情報誌や活動広報誌等の制作に企画段階から関わることで様々な方の関心や発見につながり、想いのこもったまちの情報誌となるようお手伝いしております。

●制作実績一例

- ・港南台地域情報誌タウンカフェ通信「ふ～のん」
- ・新川崎タウンカフェ通信「まちのおと」
- ・にしとも広場情報紙（にしく市民活動支援センター）ほか



NPO 法人港南台こどもっと（こどもっと保育園） 理事長（園長） 勝浦いづみさん

VOICE

■ホームページ企画デザイン制作 / 写真撮影など

平成28年4月に新園舎が完成し、こどもっと保育園は横浜保育室より認可移行し、新しく認可乳児保育園としてスタートしました。園内は無垢の木材をふんだんに使って、子どもと大人の心地よい生活空間がそこにあります。そんな私たちの保育園の良さをアピールするホームページ作成をイータウンさんをお願いしました。木の持つ温かな雰囲気や保育園環境の特徴が随所に効果的に表現されていてこどもっとらしさが溢れています。これからもホームページを活用して、子どもたちと私たちの生き生きとした活動の様子を発信していきたいと思っています。

西区地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」 施設長 新井智子さん

VOICE

■子育て情報誌・リーフレット等のデザイン制作

スマイル・ポートは、未就学児とその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う横浜市西区の子育て支援拠点で、利用登録のうえ、無料で利用いただける施設です。初めての利用者も多い中、利用案内や地域情報の提供は私たちが最も重要と位置づけている業務の一つです。貴社にご協力を頂き製作した「リーフレット」や「にしく子育て航海図」はスタッフにも説明しやすいと評判です。これからも身近で分かりやすい情報を提供するために活用させていただきます。

にしく市民活動支援センター「にしとも広場」 センター長 加世田恵美子さん

VOICE

■情報誌にしとも広場デザイン印刷、ホームページ管理など

当センターは、認定NPO法人市民セクターよこはまが、2014年から管理運営している公設民営の施設です。年2回、情報誌「にしとも広場」を発行していて、イータウンさんには、当初より、デザインから印刷までお願いしています。情報紙は当センターの一つの顔であり、センターを知ってもらう重要なツール。手に取りたくなる紙面となるよう、市民の目線で、いつも私たちと共に真剣に考えてくれていると感じます。情報紙のみならずホームページや講座でもお世話になっており、当センターにとっての「情報発信」相談役、と勝手に思っています。これからも頼りにしています。

社会福祉法人たすけあいゆい 事務局

VOICE

■ホームページのデザイン・制作 / 企画段階の職員ワークショップ運営

市民グループの活動から始まった当法人が、地域で果たす価値について職員が考えるワークショップの開催を、イータウンから提案してもらいました。ホームページを地域の方やサービス利用者の方々にどのように見てもらい発信していくのかを数回のワークショップにより、職員で話し合い意見を出し合ながら進めていき、事業所の内容と全事業に関わる情報をさらに深く考え、見つめ直す機会になりました。それらを集約した内容でホームページを改定することができました。

■ポータルサイト

地域やまちの情報サイトの企画や サイト構築、管理運営

地域情報サイトは、地域の様々な情報を、地域自らが発信し、人と人とのつながりから、人とまちのつながり、そして、より魅力的なまちづくりとする事を目的として運営されています。ポータルサイトの利用目的に合わせて情報データベースを構築いたします。

●制作実績一例

- ・地域情報サイト e-town（横浜市南部・川崎エリア）
- ・ひまわりタネット（横浜市港南区役所）
- ・かながわ生活応援サイト
（かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク）

ほか



■デザイン

ちらしやパンフレット、web サイト、 ロゴマークなどのデザイン制作

ネーミングやロゴマーク、コーポレートカラーなどの基本デザインから会社案内・web サイト・名刺・パンフレット・機関紙・広告配信まで、PR 全体をコーディネートいたします。

●制作実績一例

- ・金子デンタルクリニック
（ロゴマーク、封筒、ハガキ、名刺、看板、web サイト）
- ・こどもっと保育園（封筒、名刺、web サイト、広告）
- ・たすけあいゆい
（職員ワークショップ、web サイト、イラストマップ）
- ・西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート
（リーフレット、機関紙）ほか



colum

福祉的理念に裏打ちされた公共空間の仕事師

斉藤さんが上大岡で地域情報の仕事を始めた頃に、市民活動の世界に引っ張り込んでしまった。その頃我々は、どんな人でも気軽に寄れる交流拠点を作りたいと議論をしていたが、おそらく石井啓介氏のいう「覚悟」を決めた人が現れないと進まないだろうという予感はあった。そしてそれは斉藤さん以外にはないとみんなが感じていた。それで斉藤さんは実際に「覚悟」を決めて港南台タウンカフェを作ったのである。

斉藤さんは、もっと×2 交流ステーションでいつも語っているように、30 種類を超える仕事の経験が

あるが、実はもともと YMCA のソーシャルワーカーだったという根っこがある。タウンカフェを拠点にした様々な動きを共有しながら、斉藤さんの活動スタイルや発想に福祉的な態度が息づいているのをよく感ずる。人を尊重し、人の話をよく聞き、不愉快な対応をされても、それに反発するのではなく、どうしてその人がそうした態度を取ったのかをまず考える。

コミュニティカフェというのは、現代日本で誰にでも開かれた公共空間を再建するという文明的取組である（齋藤保著『コミュニティカ

名和田 是彦

法政大学教授
まちづくりフォーラム港南代表

フェ』の「解題」参照）。その使命に堪えるだけの理念的な仕事意識を持っているからこそ、タウンカフェは地域の方々にも信頼していただいていると思う。港南台地区の地域福祉保健計画にも港南台タウンカフェは位置づけられている。

この 20 年は斉藤さんが公共空間の仕事師としての自分を確立する期間だった。これからの 20 年はそれを展開し成熟させ、地域を変えていく 20 年になるだろう。

プレスクリップ



2015.1.1 読売新聞朝刊



2010.8.31 朝日新聞連載 vol.04



2010.10 横浜市都市整備局
ヨコハマ人・まち特集

2005/9/17 神奈川新聞報道：経済面
2006/2/25 tvk (テレビ神奈川) HI 横浜編集局
2006/2/26 tvk (テレビ神奈川) TRY かながわ
2006/3/1 広域関東圏コミュニティビジネス事例集掲載
2006/5/1 日経 MJ (日本経済新聞社発刊) 取材記事掲載
2007/2/1 神奈川県広報誌「県のたより」商店街空き
店舗活用事例掲載
2007/3/16 青少年 (内閣府発行) 掲載。
2008/3/24 週刊ビル経営掲載
2008/5/1 pal*system のんびる特集記事掲載
2008/5/18 ガリレオチャンネル (東京 MX テレビ) 放映
2008/4/1 ~ タウンニュース港南区版小箱物語連載
2008/7/1 pal*system kinari 表紙紹介
2009/3/29 タウンニュース掲載 (SB 5 選)
2009/4/14 金融ジャーナル誌に掲載
2009/6/11 NHK「いっとろっけん」放映
2009/6/16 人間会議 2009 年夏号 掲載

2009/6/30 地域貢献のすすめー小企業による地域貢献活
動の実態 (日本政策金融公庫総合研究所)
2009/8/13 神奈川新聞奮闘ベンチャー
「広がる CB 型の起業」掲載
2009/8/22 神奈川新聞「人コーナー」掲載
2009/12/1 地域づくり掲載 (特集) 地域活性化センター
2009/12/4 j-com テレビ放映
2010/1/14 FM よこはま放送 (ホズミング)
2010/8/1 ヨコハマ・人・まち (横浜市発行)
第 34 号特集掲載
2010/8/31 朝日新聞掲載
2010/9/29 ラジオ日本「ヨコハマるはず (ソレ知りた〜
い)」生放送出演
2011/3/30 横浜 S B 経営/ハンドブック SPARK 掲載
2011/3/30 TAKEACTION! ソーシャルビジネスアーカイブ掲載
2011/12/1 「地域づくり」(財団法人地域活性化センター)
「コミュニティカフェとまちづくり」特集掲載：名和田氏執筆

2011/12/12 「パブリックコミュニケーションの世界」
事例紹介 (北樹出版)
2011/12/22 朝日新聞：台の街から連載 (4 回)
2012/3/1 調査季報事例紹介 (横浜市役所)
2014/2/25 ケーブルテレビ取材 (被災地支援の取り組み)
2014/5/6 「FM ヨコハマ」FM ヨコハマ生出演
2014/7/18 横浜ウォーカー 8 月号掲載「横浜学」講師
2014/10/15 季刊誌『横浜』No.46 (2014 年 秋 号)
2005/1/1 読売新聞朝刊掲載「コミュニティカフェ特集」
に掲載
2015/1/30 「社会事業家 100 人インタビュー前編」掲載
III HOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行
2018/9/4 読売新聞「きらり企業」掲載
その他、横浜タウン新聞、はかまぜ新聞、タウンニュース、
すまいる情報館など掲載多数



受賞歴



ソーシャルビジネス 55 選に選定

経済産業省による、全国ソーシャルビジ
ネス 55 選に認定されました。

2009 年 3 月



横浜・人・まち・デザイン賞受賞

市民が自ら主体となって、創意工夫し、
地域まちづくりを推進している活動が評
価されました。

2009 年 7 月 / 2013 年 5 月



まちづくり月間国土交通大臣表彰

国土交通省まちづくり月間の表彰をいた
だきました。

2010 年 6 月



横浜市長表彰

横浜市困難を抱える若者の就労訓練協力
団体表彰をいただきました。

2013 年 3 月

書籍発行

■書籍「コミュニティカフェ～まちの居場所のつくり方、続け方」

誰もがふらっと立ち寄り、居心地の良い空間を楽しめる。出会いがあり、交流が生まれ、地域活動やまちづくりにつながることもできる場。そうしたコミュニティカフェの魅力と、運営のノウハウを各地の事例も紹介しながら紐解く一冊です。

●著者：齋藤保

●出版社：学芸出版社

●体裁：四六版 232 頁

●発売日：2020 年 6 月 20 日 ●定価：本体 2000 円＋税

ISBN-10: 4761527404 、 ISBN-13: 978-4761527402



Staff

共にまちづくりに取り組む仕事人たち

2020 年現在、契約社員や非常勤スタッフ 18 人がイータウンの業務に携わっています。

スタッフの特徴は、他の仕事や地域活動、手作り作家など、様々な取り組みと兼任している人が多いこと。他分野での経験や技能、人脈がうまく相互作用して、そこにそれぞれの経歴や夢も加わって幅のある仕事を可能にしています。

イータウンでは話し合いの場を大事にしており、毎月のスタッフ会議の他に各事業ごとにスタッフが集まって一から話し合います。

個性や得意分野を考慮した役割分担となっており、スタッフからは「やりがいのある仕事、どんどん新しいことに取り組んでいきたい」「私自身がこの取り組みのファンです」などという声が寄せられています。主体的に考え真摯に取り組むスタッフの姿勢が、イータウンの強みになっています。



■代表プロフィール 齋藤 保 (Tamotsu Saito)

* 横浜コミュニティカフェネットワーク代表

* 港南区工業会理事 (広報情報部長)

* 横浜商工会議所 南部支部委員

* くらしまちづくりネットワーク横浜 (東日本大震災復興プロジェクト) 共同代表

* 鹿島田デイズ 幹事

* NPO 法人港南台こどもっと 監事

・ 総務省地域力創造アドバイザー

・ コミュニティビジネス認定アドバイザー / コーディネーター

認定 NPO 法人市民セクターよこはま理事 (2009 ~ 2020)、横浜市男女共同参画審議会委員 (2015 ~ 2018)

横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会委員 (2018 ~)、横浜市子ども・若者支援協議会委員 (2015 ~ 2017)

横浜市社会福祉審議会：専門分科会委員 (2010)、横浜における持続可能な福祉社会の構築に関する検討専門分科会

横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会分科会委員 (2010)



DATA

会社名	株式会社イータウン
代表	代表取締役 齋藤 保
資本金	5,000,000 円
設立	2004 年 7 月 7 日
従業員	16 名 (2020 年 4 月現在 / 非常勤含む)
所属	横浜商工会議所、港南区工業会、横浜港南台商店会、鹿島田商店会、ほか
取引銀行	横浜信用金庫上大岡支店、三菱 UFJ 銀行上大岡支店

～多様なきらめきをみつけてつなげる まちのコーディネーター～



株式会社イータウン

本社・港南台タウンカフェ 〒 234-0054 横浜市港南区港南台 4-17-22 キタミビル 2F
TEL : 045-520-8550 FAX : 045-832-3864

新川崎タウンカフェ 〒 212-0058 川崎市幸区鹿島田 1-1-5 パークタワー新川崎 102
TEL/FAX: 044-555-0233

<http://www.e-etown.com/>